

デュッセルドルフ日本商工会議所50周年記念式典 総領事挨拶
(日独同時通訳)

小林 デュッセルドルフ日本商工会議所会頭 殿
レルシュ＝メンゼ NRW 州連邦・欧州・メディア担当大臣 閣下
ガイゼル デュッセルドルフ市長 殿
レーナー デュッセルドルフ商工会議所 会頭 殿
神余 関西学院大学副学長 殿
八木 駐独日本国大使 閣下
ご列席の皆様

本日、在デュッセルドルフ日本商工会議所が創設50周年を迎えるにあたり、当地で日本国総領事をさせていただいていることは、大変な光栄であり、この場を借りて皆様に心から御礼申し上げます。また、小林会頭はじめ、商工会議所の関係者には、心からお祝い申し上げます。

一点、本日神余元駐独日本国大使に記念講演をいただくことになりましたが、大使におかれては、いろいろな事情があり、大変な無理をお願いした上で、講演を引き受けていただきました。心から感謝いたします。本日の講演のタイトルが「日独関係の将来の課題」となっておりますが、大使のドイツおよびデュッセルドルフに対する強い思いを語っていただけるものと認識しています。本日の在デュッセルドルフ日本商工会議所50周年にまことに相応しいお話を楽しみにしている次第です。

もう一点、私がデュッセルドルフに赴任するにあたり、日本人社会が出来てから半世紀にわたり活躍しているということが、大変重い事実であり、それに対し日本の政府として、高く評価しているという政治的なメッセージを出してほしい、という要望を伝えておりましたところ、このたび、岸田外務大臣がその願いをかなえて下さいました。大変僭越ではございますが、以下に大臣のメッセージを代読させていただきます。

<以下、外務大臣メッセージ代読>

ご静聴ありがとうございました。